

2025

冬

さまざまな人権課題をむすび
反差別の幹を育てる実践的なプログラム

実践的な
人権学習を
学びたい

多様性教育

まずは自分が
学びたい!

多様性教育を
広げる仲間と
出会いたい

ガイドセミナー

行動につながる
プログラムを
学びたい

多様性教育ガイドブックが
もらえます!

子どもたちと学習活動を
すぐにでもはじめられます

早割だと参加・資料代が
2割引きでお得!

対象

多様性教育を学びたい人、学校教職員、教員をめざしている人、
子どもにかかわる人

日時

12/20・21
土 日

合計

2日間
コース

各日

10:00
~
17:00

締め切り

11/16
午前10時

場所

大淀コミュニティセンター
大阪市北区本庄東3-8-2

定員

20人

参加
資料代

18,000円 ただし10月31日までに申し込むと14,400円

★10月31日23:59までに申込・入金確認ができた場合

学生 12,600円

※ガイドをお持ちの方がブラッシュアップとして参加される場合は5000円

お問い
合わせ

大阪多様性教育ネットワーク

URL <https://oden55.jimdofree.com>

申込は
コチラ



フォームからお申し込み
ください。HPからも申
し込むことができます

多様性教育学習ガイドブックについて

ガイドセミナーを履修すると、『多様性教育学習ガイドブック』（430頁）を入手し、それを使う資格を得ることができます。このガイドブックは、市販されておらず、ガイドセミナーを通じてのみお渡ししています。ガイドセミナーを受けるとガイドブックに掲載されているレッスンをを使って子ども対象に学習を行うことができます。（おとな対象に行うことはできません。おとな対象に展開したい方には、別途、トレーナー研修を用意しています。）



対面開催のガイドセミナーは、多様性教育の理念を学ぶとともに、授業づくりを取り入れた実践的なプログラムです。今すぐにも子どもたちと学習を進めたい方にお勧めです。

● 多様性教育の構成原理

次の①から⑦への流れで人権教育のカリキュラムを組むことによって、自分から出発して、自己との関わりを踏まえつつ、行動する力が育まれます。低い学年では①②を重視し、高い学年になるほど⑥⑦を重視することになります。また、年度当初には①②を重視し、年度後半には⑥⑦へと重点が移っていきます。

- ① 自分が生きる価値を実感する（自尊感情の形成）
- ② いろいろな違いを自覚し尊重しあう
- ③ 「差別につながりやすい違い」を認識する
- ④ 差別の歴史的・社会的背景を学ぶ
- ⑤ 自分の経験に照らしつつ共通概念を習得する
- ⑥ 身のまわりで起こった差別的言動に対する行動力を育む
- ⑦ 社会に働きかけるための集団的・組織的な行動力を育成する

● 学習ガイドブックの内容紹介 <A4版430ページの分厚い冊子です>

◇ 第1部 ようこそ多様性教育へ

◇ 第2部 さまざまな学習活動

序章 安心と傾聴

1章 わたしとあなた（レッスン1～レッスン8）

2章 くらしと文化的多様性（レッスン1～レッスン8）

3章 バイアスをみぬく（レッスン1～レッスン12）

4章 バイアスにたちむかう（レッスン1～レッスン8）

◇ 第3部 多様性教育を深め広げるために

ODEN や多様性教育について、詳しくは、次のウェブサイトをご覧ください。 <https://oden55.jimdofree.com/>

ODEN HP



Facebook



主催 大阪多様性教育ネットワーク (ODEN)

Osaka Diversity Education Network

共同代表： 沖本和子 土田光子 森 実